

R18
SOREY × MIKLEO



度きりの我儘



……もしかしてミク坊
俺様のコップと
間違えたのか？

酒入ってたんだぞ
それ

え!?

じゃあ酔っばらって
るってこと!?!
どうしようミクリオお酒なんて
飲んだことなかったのに……!

あら
すまんすまん

っつっつ

俺様が責任もって
部屋まで連れて行って
やつからよ

ポーン……

ポーン

あ

いいよ
オレが連れていくよ
同じ部屋だし

ポーン

あらあら

わ!?

どうしたミクリオ
今日はやけに
素直だなあ
これ素直の時に
教えたらやばそう

はいはい
なんだか俺様
ちよっち切ないけど
いつてらっしやい
少し寝かせたら醒めるだろ

……ざびーだ
いやだ

すれいいい

ズキズキ



ガチャッ

おーい
ミクリオ
大丈夫か？

うーん...



ジュジュ

する...

...うーん
まだ熱いな

ちよっと冷やすもの
持ってくるから
待ってろ

すっ

グイッ

うわ!?

ハッ!?





……？

ボ……

いわなくても
わかるだろう……？

グッ
ッ
ッ
ッ
ッ

……
わかるけど……！



でもこういうのって
親友同士でするものじゃ
ないだろ……！



……
そんなこと言っている
わりには股間が
はんのうして
しまってるのはなぜだい？
あたってる……

わあ！？

グッ
ッ
ッ
ッ
ッ

……
せきにんもって
ぼくが処理して
あげるよ

ええ!?

だめだ!

ムッ……

……なんだい

そういう
意味じゃなくて
だな……!!

とりあえず
落ち着いてくれ……

はあ!?

……もしかして
ぼくが天族だから
ぼくにはできないって
いうのかい!?

………っ



ずっとスレイの
となりを
あるいていたいから……っ

……っ
やめろよ



そんなこと
言われたら
拒めなくなる……っ

ミウリオ



僕は……っ

スレイと……っ



対等に
なりたいたんだ……！



ずっとスレイの
となりを
あるいていたいから……っ

……っ
やめろよ



そんなこと
言われたら
拒めなくなる……っ

ミウリオ



僕は……っ

スレイと……っ



対等に
なりたいたんだ……！



ずる...?

アハハハ

うん...
うん...
うん...
うん...
うん...

うん...
うん...
うん...

うん...
うん...
うん...

!?!?

ちゅ...っ

ミクリオ...っ

グ
グ
グ

何や...っ...!!

うん...
うん...
うん...

あ...

うん...

なんで

なんで生まれた時から
ずっと一緒に育ってきた
幼馴染の

あっ

……

……

こんな夜に
見えない……
……

ふあ……

んあ……

……

……

……

……

あっ

ハア

スレイ……

……

……

ふあ……

ハ

ハ

……

だっ……
だめだ
見ちゃだめだ……







……う



いいから
早く……!



ゴク!

わっ

……ふっ……

ギョッ



……ふ

もうどうなっても
知らないからな……!



いっ

あ……

ハ

いっ



…ほんと
なんで

スレイ……っ！

ミクリオ……！

あつ

こんなこと
してるんだろ

ギョーッ！







.....
ミクリオ.....っ

.....
こめんな

なご.....



……え？

……もしかして
ミクリオ

昨日のあれの
記憶がない……？

えっとさ
昨夜食事中にミクリオが
ザビードのお酒入った
コップを間違って
手に取って飲んじゃって

それでミクリオが
酔っぱらっちゃって
オレがベッドまで連れて
行って寝かせたんだよ

本当か
そんなことが……！

すまないスレイ
これからは十分に
注意する

えっいいよ
気にするなよ

たまには
こういうこと
あるよな！

ガッ
タッ

……ありがとう

僕は先に身支度
終えたから
朝食まで散歩
してくるよ



別れの日が
訪れるだろうから

今回一回入るのさ

許されないだろうか...

ちゅっ...

かぼ

ようミク坊!

ザッ

ザビーター!

おはよう

...なんだい

ニヤ

ん...?

ニヤ

朝からそんなに
ニヤニヤと

気持ち悪いぞ





……っ

皆には近づかせなかったから
知ってるのは俺様だけだ
安心しろ



クニヤ

クニヤ

あうううっ
ミクリオが覚えてないから
普段通りでいこうと
思ったけど

どんな顔していいか
わかんないし
もう一緒に風呂入ったり
寝たりは絶対できない……！



……

あの好きって
どういう意味だったんだろう

ちゅ…

あと対等な関係に
なりたいて
どういふことだ

オレはミクリオと
対等な関係だと
思っているのに

まるでミクリオは
そう思っていない
劣等感まで抱いてる
ような口ぶりだった

ずっとオレに
気を遣って

本音を言うのを
我慢してくれて
いたのかな

ミクリオがいつも傍で
支えてくれていたから
ここまでこれたんだ

でもオレは

ガ
キ
ヤ

だからこそ
決断できたんだ……





…ふーん？

これはミク坊

望みあるかもよ？

おわり

ページ数がギリギリでこんなところにあとがき失礼します。
ミクリオがお酒の力でも借りないと本音言ってくれなさそうだなと思ってこんな話になりました。
ミクリオは増神契約でスレイと血縁結んだ以外では最終的にいつもスレイの意見に同意してきましたよね。
素晴らしい様です！

あと、スレイもミクリオも付き合ったら性別よりも種族の壁に悩まそうです。
実際にミクリオは悩んでいますよね。だからミクリオはスレイと結ぶ人間に結ぶものではないでしょうか。
スレイは種族関係なく独占欲強いのでチャットではミクリオはオレのもの感すごいがありましたよね！

決戦前夜でミクリオが抱き締めて囁く時、少し声が震えていた気がします。
スレイが決めたことには最終的には同意するけど、やっぱり本音は行ってほしくなかったんだろうなと思います。

あのシーンのミクリオの心情を考えると胸が苦しいですし。
きっとスレイもミクリオのそんな心情には気付いてはいたんでしょうけど、
それでもミクリオのことを100%信頼していたからこそ決断と告げることができたんでしょうね。
スレイミク偉いですー

そしてあのEDですよー！あの最後のミクリオの笑顔は世界一美しい笑顔だと思います。
あんな笑顔でスレイを迎えてくれたんだから思いつきミクリオを幸せにしてほしいし、
ミクリオにも何百年も頑張ったスレイのことを幸せにしてほしいです。

次はED後の本を発行すると思いますが、今読みたいに終わりに含みがあるものではなく

2人の馴れ初めとハッピーエンドを描きたいです。
それではここまでお読み頂きまして有難うございました！